

- 問1 生物が減数分裂を行って生殖細胞をつくるとき、対になっている遺伝子が分かれて別々の生殖細胞に入るという法則を何というか、適切な名称を選びなさい。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 独立の法則

2. 優性の法則

3. 分離の法則

4. 連鎖の法則
- 問2 対立遺伝子の組み合わせがAaである植物を自家受粉させたとき、減数分裂によって対になった遺伝子が分かれて別々の生殖細胞に入る「分離の法則」によって、子に現れる可能性のある遺伝子型の組み合わせをすべて挙げたものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. Aaのみ

2. A、a

3. AA、Aa、aa

4. AA、aa
- 問3 体細胞分裂の結果として生じる2つの新しい細胞について、その特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2020年 福井県公立入試 類似)
1. 染色体の数が分裂前の細胞の半分になり、形や性質が異なる細胞になる

2. 染色体の数は変わらないが、一つの細胞の中に核が2つ存在する状態になる

3. 染色体の数が分裂前の細胞の2倍になり、もとの細胞より大きな細胞になる

4. 染色体の数は分裂前と変わらず、形や性質も同じ細胞になる
- 問4 タマネギの根の先端付近を用いて細胞分裂を観察する実験において、核の中に現れる染色体を赤紫色に染めて観察しやすくするために用いられる薬品として、最も適切なものはどれか。 (2022年 北海道公立入試 類似)
1. ベネジクト溶液

2. B T B溶液

3. ヨウ素液

4. 酢酸オルセイン溶液
- 問5 丸い種子をつくる純系のエンドウ（遺伝子の組み合わせをAAとする）と、しわのある種子をつくる純系のエンドウ（遺伝子の組み合わせをaaとする）を親としてかけ合わせたところ、子はすべて丸い種子（Aa）となった。この子の代の種子を自家受粉させて孫の代の種子を得たとき、孫の代で現れる「遺伝子型の組み合わせ」とその比率として適切なものはどれか。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. Aaのみが現れる

2. AA : Aa : aa = 1 : 2 : 1

3. AA : aa = 1 : 1

4. AA : Aa : aa = 1 : 1 : 1
- 問6 コウモリの翼、クジラのひれ、ヒトの腕のように、現在は形やはたらきが異なっているが、基本的な骨格のつくりが共通しており、もともとは同じ器官が変化してできたと考えられる器官を何といいますか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 感覚器官

2. 痕跡器官

3. 相似器官

4. 相同器官
- 問7 体細胞分裂によって、1つの細胞が2つの細胞に分かれたとき、新しくできた細胞に含まれる染色体の状態について述べたものとして最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 細胞の成長に伴って染色体が新しく作られるため、もとの細胞よりも染色体の数が増えている。

2. 1つの細胞を2つに分けるため、染色体の数はもとの細胞の半分ずつに分配されている。

3. 分裂が始まる前に染色体が複製されているため、もとの細胞と同じ数・同じ質の染色体を持っている。

4. 染色体はエネルギーとして消費されるため、新しくできた細胞には引き継がれない。
- 問8 被子植物の受精の過程において、花粉からのびた花粉管がたどる経路と、核が合体する場所の説明として正しいものはどれか。 (2016年 山梨県公立入試 類似)
1. 花粉管はやくの内部をのびて柱頭に到達し、その表面で精細胞の核と卵細胞の核が合体する。

2. 花粉管は脂肪の外側をのびて柱頭に到達し、その内部で精細胞の核と胚珠の核が合体する。

3. 花粉管は花柱の中をのびて胚乳に到達し、その内部で精細胞の核と卵細胞の核が合体する。

4. 花粉管は花柱の中をのびて胚珠に到達し、その内部で精細胞の核と卵細胞の核が合体する。
- 問9 タマネギの根の先端付近など、植物の成長している部分を観察したとき、細胞分裂が行われている様子について述べたものとして正しいものはどれか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 根の先端を守る根冠という部分で盛んに行われ、分裂によって細胞の数は増えるが、一つひとつの大きさは変わらない。

2. 成長点以外のすべての部分で一斉に行われ、分裂が終わるまで核の形は一切変化しない。

3. 根の先端に近い成長点という部分で盛んに行われ、分裂中には太いひも状の染色体が現れる。

4. 根の先端から離れた根毛のある部分で盛んに行われ、染色体は常に核の中に閉じ込められている。
- 問10 親から子へ形質が伝わる仕組みについて、遺伝子と染色体の関係を正しく説明したものはどれですか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 遺伝子は染色体に含まれており、生殖細胞を通じて親から子へと受け継がれる。

2. 染色体は形質そのものの名称であり、遺伝子はそれを保護するための物質である。

3. 遺伝子は細胞核ではなく細胞質に含まれており、染色体とは無関係に子に伝わる。

4. 形質は遺伝子とは無関係に、細胞核自体が直接分裂することで子に受け継がれる。
- 問11 体細胞分裂が進行し、染色体が細胞の両端に移動したあとの変化について説明したものとして、最も適切なものはどれか。なお、植物細胞の観察を前提とする。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 両端に移動した染色体が再び中央に集まり、一つの大きな核を作る。

2. 細胞の中央が外側からくびれていき、引きちぎられるように二つに分かれる。

3. 染色体が完全に消失し、細胞の形が不規則に変化して一つに合体する。

4. 細胞の中央に新しい仕切りができ始め、最終的に二つの細胞に分かれる。
- 問12 孫の代で丸い種子となった個体をすべて自家受粉させた場合、得られる次世代の種子の形質に注目する。孫の代の丸い種子のうち、「次世代で丸い種子としわのある種子の両方が現れる個体」は、孫の代の丸い種子全体のなかでどのような割合で存在するか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 丸い種子のすべて

2. 丸い種子のうちの2分の1

3. 丸い種子のうちの3分の2

4. 丸い種子のうちの3分の1
- 問13 デンブンを均一に混ぜた寒天培地に、アオカビなどの微生物を含む上澄み液を数滴加え、数日間放置しました。その後、培地全体にヨウ素液を滴下したところ、上澄み液を加えた地点の周囲だけが青紫色に変化せず、斑点状の模様が観察されました。この現象が起きた理由として、正しい説明を選びなさい。 (2015年 福岡県公立入試 類似)
1. 微生物が呼吸を行うことで、培地のデンプン濃度が高まったため

2. 微生物がヨウ素液と反応して、無色の物質を作り出したため

3. 微生物がデンプンを吸収して、代わりにタンパク質を放出したため

4. 微生物のはたらきによって、周囲のデンプンが分解されたため
- 問14 生態系における「分解者」の働きと、その物質の変化について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
1. 生物の死骸や排出物に含まれる有機物を分解してエネルギーを得、二酸化炭素や水などの無機物に戻す。

2. 光エネルギーを利用して、二酸化炭素などの無機物からデンプンなどの有機物をつくる。

3. 他の生物を直接食べることで有機物を取り込み、体内で別の有機物へとつくり変える。

4. 空気中の無機物を直接分解して、土壌を豊かにするための新しい有機物を生成する。

1. コケ植物 2. シダ植物 3. 細菌類 4. 菌類

1. 分離の法則 2. 純系 3. 対立形質 4. 優性形質

1. 遺伝子型はAAとしわ形のaaが半分ずつ存在し、表現型は丸形としわ形が混在する。	2. 遺伝子型はAaという組み合わせになり、表現型は丸形としわ形が1:1の割合で現れる。	3. 遺伝子型はAAのみとなり、表現型はすべて優性形質である丸形となる。	4. 遺伝子型はAaという組み合わせになり、表現型は優性形質である丸形のみが現れる。
--	--	--------------------------------------	--

1. 粒状に変化した染色体が、細胞の壁際に沿って一列に並ぶ
2. 円形の染色体が、核のあった場所に固定されて動かなくなる
3. 網目状の染色体が、細胞全体を覆うように広がる
4. ひも状に変化した染色体が、細胞の中央付近に現れる

1. 維管束 2. 根端分裂組織 3. 道管 4. 根毛

1. 分離実験 2. 抽出実験 3. 対照実験 4. 培養実験

1. 成体 2. 孢子 3. 胚 4. 幼生

1. エネルギーの循環 2. 水の循環 3. 窒素の循環 4. 炭素の循環

1. 減数分裂 2. 受精 3. 出芽 4. 体細胞分裂

1. 親の体の一部から増える際に染色体の数が半分になるため、形質はもとの個体と一部だけ同じになる。
2. 減数分裂によって遺伝子の組み合わせが変化するため、形質はもとの個体と異なるものになる。
3. 生殖細胞の合体により新しい遺伝子の組み合わせが作られるため、形質は親のいずれとも異なるものになる。
4. 受精を介さず親の遺伝子がそのまま子に受け継がれるため、形質はもとの個体と同じになる。

1. 光エネルギーを用いて、デンプンなどの有機物から無機物を合成する。
2. 土壌中の微生物と協力して、有機物を無機物へと分解する。
3. 呼吸の働きによって、無機物から有機物を作り出し体内に蓄える。
4. 光エネルギーを用いて、二酸化炭素などの無機物から有機物を合成する。

1. 自家受粉を繰り返すことで、対になっている遺伝子の組み合わせが常に純系になるため。
2. 受精の瞬間に、精子と卵の遺伝子が混ざり合って新しい1つの遺伝子に変化するため。
3. 体細胞分裂によって、親と全く同じ遺伝子を持つ細胞が複製されるため。
4. 生殖細胞ができるときに、染色体の数が半分になる減数分裂が起こるため。

1. 出芽 2. 受精 3. 減数分裂 4. 体細胞分裂

1. 精細胞 2. 精子 3. 体細胞 4. 卵細胞

1. 變異 2. 優性形質 3. 顯性形質 4. 潛性形質

- 問1 ある生物の体細胞に含まれる染色体の数が24本であるとき、この生物の精巣でつくられた精子に含まれる染色体数と、受精によってできた受精卵に含まれる染色体数の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 三重県公立入試 類似)

1. 精子の染色体数は12本、受精卵の染色体数は12本

2. 精子の染色体数は12本、受精卵の染色体数は24本

3. 精子の染色体数は24本、受精卵の染色体数は48本

4. 精子の染色体数は24本、受精卵の染色体数は24本
- 問2 生殖細胞がつくられる際に減数分裂が行われ、染色体数が半になることの生物学的な意義として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 染色体の組み合わせを単純にすることで、親と全く同じ形質を持つ子を実際に残すことができるようにするため

2. 細胞分裂に必要なエネルギーを節約し、より多くの生殖細胞を短時間で作ることができるようにするため

3. 受精卵が細胞分裂を繰り返す過程で染色体が不足しないよう、あらかじめ予備を確保しておくため

4. 受精によって精子と卵の核が合体したとき、子が親と同じ染色体数を受け継ぐことができるようにするため
- 問3 生物の集団が、非常に長い時間をかけて多くの世代を重ねる間に、形質が変化していく現象を何といいますか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)

1. 進化

2. 変態

3. 成長

4. 順応
- 問4 食物連鎖における各階層の生物量の関係について、生産者を底辺として、その上に草食動物、さらにその上に肉食動物を積み上げたときに成立する、ピラミッド状の数量バランスについて述べたものとして、正しいものはどれですか。 (2023年 広島県公立入試 類似)

1. 一度でも特定の階層の生物量が増えると、連鎖的にすべての階層が死滅するため、数量の釣り合いが回復することはない。

2. 食物連鎖の上位にいくほど個体数が増えることで、ピラミッドが逆転した状態になるのが安定した生態系の特徴である。

3. 生態系では、生産者の総重量が最も大きく、階層が上がるにつれて生物量が少なくなっており、一時的にバランスが崩れても自然に回復する仕組みがある。

4. 生産者と肉食動物の数量は常に等しく保たれており、草食動物の増減が他の階層の数量に影響を及ぼすことはない。
- 問5 生物が、酸素を取り入れて有機物を分解し、そこから生命活動に必要なエネルギーを取り出すはたらきを何といいますか。 (2016年 埼玉県公立入試 類似)

1. 消化

2. 蒸散

3. 光合成

4. 呼吸
- 問6 丸い種子をつくる純系のエンドウと、しわのある種子をつくる純系のエンドウを交配してできた「丸い種子の個体（ヘテロ接合体）」を育て、自家受粉させたときに現れる、孫の代の「丸い種子」と「しわのある種子」の数の比として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)

1. 丸い種子：しわのある種子 = 1：1

2. 丸い種子：しわのある種子 = 2：1

3. 丸い種子：しわのある種子 = 9：3

4. 丸い種子：しわのある種子 = 3：1
- 問7 生物の細胞分裂が始まる時、核の中に現れる太いひも状の構造物を何といいますか。この構造物は遺伝情報を持ち、新しい細胞へと受け継がれる役割を持っています。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

1. 細胞膜

2. 核

3. 細胞壁

4. 染色体
- 問8 対立形質をもつ純系の親同士をかけ合わせた際、子には顕性形質のみが現れ、潜性形質は現れません。この理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)

1. 子は常にどちらか一方の親と全く同じ遺伝子の組み合わせをそのまま受け継ぐ仕組みだから

2. 受精の瞬間に、潜性形質を決定する遺伝子が破壊されて消滅してしまうため

3. 生殖細胞ができる段階で、顕性形質の遺伝子をもつ細胞だけが受精能力を持つため

4. 異なる遺伝子が対になったとき、一方の遺伝子の性質だけが形質として表面に現れる性質があるため
- 問9 細胞分裂の過程において、細胞の中央付近に現れるひも状の構造物「染色体」の性質や役割について正しく述べたものはどれか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)

1. 細胞質にある物質が固まってできたものであり、分裂に必要なエネルギーを蓄えている。

2. 成長した植物細胞にのみ見られるものであり、細胞内の水分や不要な物質を調節している。

3. 核の中にあつた物質が変化したものであり、生物の形質を決める遺伝子が含まれている。

4. 光合成を行うための構造が変化したものであり、分裂後に新しい細胞の葉緑体になる。
- 問10 森の地表にある落葉の裏側をルーペで観察すると、カビなどの菌糸が広がっている様子が確認できることがあります。これら分解者の働きによって、落葉に含まれる有機物が呼吸によって分解された際に放出される無機物として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)

1. デンプン

2. 窒素

3. 酸素

4. 二酸化炭素
- 問11 植物の根が成長して伸びていくとき、根の内部で起こっている現象として適切なものはどれか。 (2019年 高知県公立入試 類似)

1. 根の先端で新しく作られた細胞が、根の基部（茎に近い側）に向かって次々と移動する。

2. 根にあるすべての細胞が、分裂することなく一斉に横方向へ大きく成長する。

3. 根の先端付近で細胞分裂によって細胞の数が増え、その増えた細胞が大きく成長する。

4. 根のすべての場所で均等に細胞分裂が起こり、細胞の数が増えることで全体が伸びる。
- 問12 生物の有性生殖において、精巣や卵巣でつくられる精子や卵などの生殖細胞に含まれる染色体の数は、その生物の体細胞に含まれる染色体数と比べてどのようになっていますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)

1. 体細胞に含まれる染色体数のちょうど4倍の数である

2. 体細胞に含まれる染色体数のちょうど2倍の数である

3. 体細胞に含まれる染色体数のちょうど半分の数である

4. 体細胞に含まれる染色体数と同じ数である
- 問13 エンドウの種子の形には「丸形」と「しわ形」という対立形質がある。丸形の純系としわ形の純系を親としてかけ合わせたとき、子の代ではすべて丸形の種子が得られた。この実験結果から導き出される、子の代に現れた形質に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)

1. 子の代で現れなかったしわ形の形質は、遺伝子そのものが消失している。

2. 子の代に現れる形質は、受粉させる際の花粉の量によって決定される。

3. 対立形質をもつ純系をかけ合わせた場合、子には両方の形質が混ざり合った中間的な形質が現れる。

4. 対立形質をもつ純系をかけ合わせた場合、子にはどちらか一方の形質のみが現れる。

問1 1つの細胞であるカエルの受精卵が、細胞分裂によって多数の細胞の塊になるまでの様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。

(2015年 富山県公立入試 類似)

1. 1つの細胞が2つに分かれた後、それぞれの細胞が受精卵と同じ大きさまで成長してから次の分裂を繰り返す
2. まず横に割れて2つの細胞になり、次に縦に割れて4つの細胞になり、その後、細胞が元の大きさに戻ってから次の分裂が起こる
3. まず縦に割れて2つの細胞になり、次に横に割れて4つの細胞になり、さらに分裂が進んで多数の小さな細胞の塊へと変化する
4. 受精卵が一度に多数の小さな細胞へと一気に分かれ、その後、それぞれの細胞が合体して大きな細胞の塊へと変化する

問2 生態系において、カビやキノコなどの仲間である菌類や、納豆菌や乳酸菌などの仲間である細菌類は、生物の死骸や排出物に含まれる有機物を無機物に分解する役割を担っています。このような役割を持つ生物を何と呼びますか。

(2022年 愛媛県公立入試 類似)

1. 生産者
2. 草食動物
3. 分解者
4. 消費者

問3 ある植物において、丸い種子をつくる純系の個体としわのある種子をつくる純系の個体を親として掛け合わせたと、子の代はすべて丸い種子になった。この子の代の丸い種子をまいて育て、自家受粉させた結果、孫の代では丸い種子が5474個、しわのある種子が1850個現れた。この実験結果から推測される、孫の代における「丸い種子」と「しわのある種子」の出現比率に最も近いものはどれか。

(2014年 三重県公立入試 類似)

1. 1 : 1
2. 2 : 1
3. 3 : 1
4. 4 : 1

問4 生物の体が成長するとき、1つの細胞が2つに分かれる現象を体細胞分裂と呼びます。この過程において、核の中に現れる紐のような構造物の名称として正しいものを選んでください。

(2018年 秋田県公立入試 類似)

1. 染色体
2. 胚珠
3. 細胞質
4. 遺伝子

問5 「進化」という現象の説明として、最も適切なものはどれですか。

(2024年 福井県公立入試 類似)

1. 個体が一生涯の間に、周囲の環境に合わせて形や機能を変えること
2. カエルの子がオタマジャクシから成体へと、短期間で劇的に姿を変えること
3. 生物の集団が、長い年月をかけて世代を交代しながら形や機能を変化させること
4. 受精卵が細胞分裂を繰り返して、成体になるまでの過程のこと

問6 草食動物の数量が一時的に増加した生態系では、やがて草食動物の数量が減少に転じ、再び元の釣り合いへと戻ります。草食動物の数量が減少する理由の説明として最も適切なものはどれですか。

(2026年 宮崎県公立入試 類似)

1. 肉食動物が植物を直接食べるようになり、草食動物のエサが奪われるから。
2. 肉食動物が減少して捕食される量が減り、エサとなる植物が増加して過剰になるから。
3. 植物が草食動物の増加に対抗して毒性を強め、草食動物が死滅するから。
4. 肉食動物が増加して捕食される量が増え、エサとなる植物が減少して食べ物不足するから。

問7 ジャガイモの栽培において、種子を使わずに「種いも」を植えて増やす方法は無性生殖（栄養生殖）の一種です。この方法で育ったジャガイモの子の代の性質について、適切な記述を選びなさい。

(2018年 鳥取県公立入試 類似)

1. 周囲の環境に合わせて、親よりも生存に有利な性質を持つ個体へと変化する
2. 減数分裂によって親の遺伝子が半分に分かれるため、親とは異なる性質を持つ
3. 受精が行われないため、親が持つ遺伝子のうち劣性形質だけが子に現れる
4. 親の細胞が体細胞分裂によって増えて新しい個体になるため、親と同じ性質を持つ

問8 染色体には、生物の形、大きさ、性質などの特徴を決定する情報が含まれている。このような、生物が持つ特徴のことを何というか。また、染色体が生物の維持において重要である理由は何か。

(2018年 愛媛県公立入試 類似)

1. 特徴を「進化」といい、染色体は細胞内外の物質の出入りを管理する役割を持つため。
2. 特徴を「変異」といい、染色体は細胞の活動に必要なエネルギーを生産する役割を持つため。
3. 特徴を「分化」といい、染色体は光合成によって有機物を合成する役割を持つため。
4. 特徴を「形質」といい、染色体はそれを決定する遺伝情報を次の細胞へ受け渡す役割を持つため。

問9 生物が代を重ねる中で、長い年月をかけて遺伝子が増え、周囲の環境に適した形態や機能を持つようになる現象を何といいますか。

(2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. 進化
2. 変態
3. 個体発生
4. 突然変異

問10 大気と生物の間で行われる炭素のやりとりについて、植物と動物の役割を説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2018年 茨城県公立入試 類似)

1. 植物は光合成だけを行い、呼吸は行わないため、大気中の二酸化炭素を減少させる役割のみを担っている。
2. 植物は大気から二酸化炭素を吸収し、動物は光合成と呼吸の両方を行うことで大気中の二酸化炭素濃度を調節している。
3. 植物は大気中の二酸化炭素を吸収して光合成を行い、植物と動物の両方が呼吸によって二酸化炭素を大気中へ放出している。
4. 動物は呼吸によって二酸化炭素を放出するが、植物は光合成によって二酸化炭素を放出する役割を担っている。

問11 土壌動物であるトビムシやミミズ、および菌類であるキノコの共通した性質について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。

(2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 無機物から直接栄養を吸収し、大気中に酸素を放出する役割を担っている。
2. 生態系における生産者として、食物連鎖の出発点となっている。
3. 光合成を行い、光エネルギーから有機物をつくり出す性質を持っている。
4. 他の生物やその遺骸を摂取し、そこに含まれる有機物から栄養を得ている。

問12 ヒトの腕、コウモリのつばさ、クジラのひれなどのように、現在の形や働きは異なっているが、基本的なつくりが同じであり、共通の祖先から変化したと考えられる器官を何といいますか。

(2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 相似器官
2. 相同器官
3. 感覚器官
4. 消化器官

問13 遺伝の規則性を調べる実験として、丸い種子の純系としわのある種子の純系を親として交配させ、得られた子の代をさらに自家受粉させて孫の代の形質を観察する手法があります。このように遺伝の仕組みを理解することは現代の遺伝子操作技術の基礎となっていますが、遺伝子操作技術を用いた「治療」に関する考え方として正しいものはどれですか。

(2020年 京都府公立入試 類似)

1. 特定の病気の原因となる遺伝子の働きを抑えたり、正常な遺伝子を補ったりすることで、病状の改善や克服を目指す。
2. 自家受粉を繰り返して得られた純系の個体から、遺伝子を取り出すことなく、見た目の特徴（表現型）だけを操作して治療を行う。
3. 孫の代まで形質を追跡し、しわのある種子のような「潜性（劣性）の形質」を持つ個体をすべて排除して、純系のみを残す。
4. 生物が本来持っているDNAをすべて人工的な化合物に置き換えることで、病気に全くかからない新しい人類を製造する。

問1	デンプン溶液を入れた試験管の口をアルミ箔でふさぎ、空気と遮断して実験を行うことがあります。この処置を行う理由として最も適切なものを次の中から選びなさい。 （2023年 青森県公立入試 類似）			
	1. 空気中の酸素が試験管内の物質と反応して、酸化反応が起こるのを防ぐため	2. 空気中に浮遊している微生物が試験管内に侵入し、デンプンを分解するのを防ぐため	3. 試験管内の水分が蒸発して、溶液中のデンプン濃度が変化するのを防ぐため	4. 空気中の二酸化炭素が溶液に混入し、液性が酸性に変化して反応を妨げるのを防ぐため
問2	被子植物の受粉後の変化において、花粉から胚珠に向かって伸び、内部にある精細胞を運ぶ役割を持つ管状の組織を何といいますか。 （2018年 岩手県公立入試 類似）			
	1. 道管	2. 花粉管	3. 柱頭	4. 師管
問3	アンモナイトが地層の年代を特定するための「示準化石」として適している理由を、生物学的特徴の観点から説明したものととして最も適切なものはどれか。 （2022年 山梨県公立入試 類似）			
	1. 限られた狭い地域でのみ生息し、環境の変化に非常に敏感であったため。	2. 非常に長い期間にわたって種が存続し、現代でもその姿をほとんど変えていないため。	3. 広い範囲に生息しており、かつ、特定の限られた短い期間だけ栄えて絶滅したため。	4. 体の組織が非常に硬く、どのような堆積環境においても腐敗せずに残りやすいため。
問4	ある安定した生態系において、食べる・食べられるの関係である食物連鎖に注目したとき、生産者である植物、それを食べる草食動物、さらに草食動物を食べる肉食動物の個体数や総重量の関係について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 （2017年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 肉食動物の数量が最も多く、植物の数量が最も少ない	2. 植物、草食動物、肉食動物のすべての数量がほぼ等しい	3. 草食動物の数量が最も多く、植物と肉食動物はそれより少ない	4. 植物の数量が最も多く、肉食動物の数量が最も少ない
問5	子の代の遺伝子の組み合わせがすべて「Aa」である個体どうしを自家受粉させて、孫の代をつくりました。このとき、孫の代で「丸い種子」と「しわのある種子」がどちらも現れるのはなぜですか。その原理を説明したものととして適切なものを選びなさい。 （2019年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 優性遺伝子と劣性遺伝子が混ざり合って、中間的な形質がつくられるため	2. 受精が行われるときに、同じ種類の遺伝子どうしが反発し合う性質があるため	3. 生殖細胞ができるときに、対になった遺伝子が分かれて別々の細胞に入るため	4. 親から受け継いだ遺伝子が、成長の過程で環境に合わせて変化するため
問6	土の中の微生物の働きを調べるため、2つの容器を用意した。一方は「生の土」を入れ、もう一方は「沸騰させて十分に冷却した土」を入れ、それぞれにデンプン溶液を加えて数日間放置した。その後、両方の容器にヨウ素液を加えた際の結果と、そこから考えられる微生物の働きについて述べたものとして正しいものはどれか。 （2015年 京都府公立入試 類似）			
	1. 加熱した土を入れた方だけが青紫色に変化し、土の成分がデンプンを吸収したことがわかる	2. 生の土を入れた方ではヨウ素液の色が変化せず、微生物がデンプンを分解したことがわかる	3. 加熱した土を入れた方ではヨウ素液の色が変化せず、熱によってデンプンが分解されたことがわかる	4. 生の土を入れた方だけが青紫色に変化し、微生物がデンプンを作り出したことがわかる
問7	丸い種子をつくる遺伝子をA、しわのある種子をつくる遺伝子をaとします。純系の丸い種子（AA）と純系のしわのある種子（aa）をかけ合わせてできた子を自家受粉させて孫をつくったとき、孫に現れる種子の形質の比（丸型：しわ型）はどのようにになりますか。 （2021年 宮崎県公立入試 類似）			
	1. 1：1	2. 3：1	3. 1：3	4. 1：0（すべて丸型）
問8	ヒトの腕、クジラの胸びれ、コウモリのつばさは、それぞれ「物をつかむ」「泳ぐ」「飛ぶ」という異なるはたらきをしていますが、内部の骨格のつなぎ目や並び方には驚くほどの共通点があります。これらの器官のつくり共通点が見られる理由として、進化の観点から最も適切な説明を選びなさい。 （2017年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. もともとは別のつくりであったが、同じはたらきを求めて進化した結果、骨格の構造が一致したため	2. もともと同じ基本的な骨格をもっていた共通の祖先から、それぞれの生活環境に合わせて変化したため	3. それぞれの生物が、将来的にすべてヒトと同じような形に進化しようとしている過程にあるため	4. 異なる祖先から生まれた生物が、同じ環境で生活するうちに偶然同じような骨格へと変化したため
問9	有性生殖を行う生物において、代を重ねても体細胞に含まれる染色体の数が親と同じ数に保たれるのはなぜですか。その理由として最も適切な説明を選びなさい。 （2015年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 受精によって一度染色体の数は2倍になるが、その後の発生の過程で半分が消失するため	2. 受精卵が成長する過程で行われる体細胞分裂によって、染色体の数が親と同じになるよう調整されるため	3. 精子と卵が合体する際に、余分な染色体が分解されて親と同じ数になるまで減少するため	4. 生殖細胞ができる際に染色体の数が半分になり、受精によってそれらが合体することでもとの数に戻るため
問10	被子植物の有性生殖において、花粉管の先端が胚珠に到達した後、花粉管の中を移動してきた精細胞の核と、胚珠の中にある卵細胞の核が合体する現象を何というか。 （2017年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 受粉	2. 受精	3. 減数分裂	4. 発生
問11	生物の進化において、ヒトの腕、コウモリのつばさ、クジラのひれのように、現在は形やはたらきが異なっているが、もともとの骨格などの基本的なつくりが同じである器官を相同器官といいます。相同器官をもつ複数の種は、長い年月をかけて変化してきたと考えられますが、これらが進化するもととなった過去に存在した単一の種のことを何といいますか。 （2025年 山口県公立入試 類似）			
	1. 別々の祖先	2. 突然変異種	3. 共通の祖先	4. 特定の個体
問12	ジャガイモのいも（塊茎）を土に植えると、そこから芽が出て新しい個体が増えていきます。このように、受精を行わずに親の体の一部から新しい個体を作る生殖方法を何といいますか。 （2014年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 栄養生殖	2. 出芽	3. 有性生殖	4. 無性生殖
問13	遺伝学において、自家受粉を繰り返したときに、親、子、孫と代々すべて同じ形質が現れ続ける個体の集団や、対立遺伝子がAAやaaのように同じ種類の組み合わせである状態を何と呼びますか。 （2024年 富山県公立入試 類似）			
	1. 変異	2. 分離	3. 純系	4. 雑種